

申請書記載例 及び チェックリスト (内容は全て架空のものです)

第1号様式 (第8条関係)

令和8年 4月 ○日

尾張旭市長 殿

〈申請者〉

住所 尾張旭市○○町▲▲番地
団体名 市民活動を促進する会
代表者氏名 尾張 旭

尾張旭市市民活動促進助成金交付申請書

尾張旭市市民活動促進助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

名称は忘れずに記入してください。

1 事業の名称 市民活動団体をPRする事業

2 申請区分 (いずれかにをしてください。)

はじめての一步部門 一般部門

3 事業計画書 第2号様式のとおり

4 事業に要する総経費及び助成金交付申請額

(1) 助成事業に要する総経費	129,900 円
(2) 助成対象となる経費	99,400 円
(3) 助成金交付申請額	49,000 円

一般部門は (2) × 1/2
はじめての一步部門は
(2) × 2/3
(1,000円未満切り捨てで、10万円を上限とする。)

5 添付書類

- (1) 尾張旭市市民活動促進助成金交付対象事業計画書 (第2号様式)
- (2) 尾張旭市市民活動促進助成金交付対象事業収支予算書 (第3号様式)
- (3) 団体の規約その他これに類するもの
- (4) 団体の収支予算書 (事業収支予算書と同一の場合は不要)
- (5) 前各号に掲げるもののほか、パンフレット、ちらし等団体の活動内容等が分かるもの

団体の収支予算書を添付してください。

6 助成事業の区分 (一般部門に申請する場合は、いずれかにをしてください。)

新規事業 前回までと同一事業 (今回で2回目)

同一事業の場合は回数を記入してください。

連絡先 (電話、メール)

〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

〇〇〇@〇〇〇〇.ne.jp

公開プレゼンテーション

あり なし

すぐに連絡が取れる連絡先を記入してください。なお、公開プレゼンテーションは助成金交付申請額が5万円未満の場合には省略可能ですので、その際は「なし」にを付けてご記入ください。

第2号様式（第8条関係）

尾張旭市市民活動促進助成金交付対象事業計画書

団体名 市民活動を促進する会

1 事業の名称	市民活動団体をPRする事業	
2 事業実施主体	(団体名) 市民活動を促進する会 (代表者氏名) 尾張 旭	令和8年4月1日～ 令和9年3月25日の間
3 事業実施期間	令和8年4月1日から令和8年11月30日まで	
4 事業の目的	地域課題を把握し、課題解決に役立つ内容ですか。	後継者育成や新規参加者加入を望む市民活動団体と、地域や事業者・教育機関・行政との交流の場を設けるほか、一般市民に活動をPRし、市民活動の活発化を図ることを目的とする。
5 期待される効果	地域や事業者、教育機関、行政と交流することで、地域課題の共有が図られ、解決のきっかけづくりになるほか、潜在的に市民活動を行いたい市民とのマッチングを行うことで、市民活動を盛り上げ、まちづくりの機運が高まることが期待される。	
6 事業の特徴	顔が見える関係をつくるところからスタートするため、ZOOMで交流を行ったり、秋祭り会場においてパネル展示や体験コーナーでPRをするなど、気軽に参加できる内容にした。	
7 事業の内容		広く市民に開かれて参加しやすい事業ですか。
実施場所	① OO公民館②秋祭り会場	
対象者及び参加予定人数 (うち団体の会員数)	① 50人②350人 (うち団体会員数 延20人(10人×2回))	
内容と方法	プレゼンテーションプログラムで紹介される項目です。	① 7月に市民活動団体と地域、事業者、教育機関、行政関係者がZOOMで集い、テーマについて話し合う交流を行う。 ② 10月開催の秋祭り会場で市民活動のPRブースを設け、パネル展示や体験コーナーを設置し、市民に活動のPRをする。
実施体制	協力団体や参加者を記載してください。	会員10人及びOOの会、▲▲の会がボランティアとして参加。尾張旭市市民活動支援センターや秋祭り委員会と連携。自治会、市内事業者、教育機関、行政担当者に周知する。体験コーナーは2団体に依頼予定。
その他	今後の展望を記入してください。	今後も同様の活動を継続し、交流の回数と参加者の拡大を図る。また、PR活動は、秋祭りの恒例行事の1つとして定着させる。
8 その他		

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。

尾張旭市市民活動促進助成金交付対象事業収支予算書

体名 市民活動を促進する会

収 入

（単位：円）

科 目	予算額	内 訳
尾張旭市助成金	49,000	
団体自己資金	70,900	会全体の会計から 70,900 円
その他	10,000	参加費（200 円×50 人×1 回）
計	129,900	

参加費はその他に記入してください。

第1号様式4(1)の額

支 出

（単位：円）

科 目	予算額	うち助成対象経費	助成対象経費の内訳
報償費	30,000	30,000	外部ファシリテーター謝礼 10,000 円×1 人×2 日=20,000 円 秋祭り体験コーナー設置謝礼 5,000 円×2 団体×1 日=10,000 円
旅費	2,000	2,000	講師交通費 500 円×往復×1 人×2 日=2,000 円
需用費	20,000	20,000	チラシ印刷代 10,000 円（1,000 部×2 回×5 円） 消耗品費 10,000 円（模造紙●円×1 個、マジック●円×1 個、…）
役員費	15,900	15,900	ちらし口口センターへ送料 450 円×2 回=900 円 参加者への通知用郵便代 110 円×50 通×2 回=11,000 円 行事保険 2,000 円×2 回=4,000 円
使用料及び賃借料	7,000	7,000	口口公民館会場費 3,500 円×2 日=7,000 円
備品購入費	50,000	24,500	ステップ台 50,000 円
その他	5,000	0	参加者お菓子代 (100 円×50 人=5,000 円)
計	129,900	99,400	

助成対象経費の内訳はすべて、単価×人数×日数や、単価×個数など、見積り計算式を記入してください。

備品は単価が3万円以上の物品

助成金の額の1/2以内を限度とします。（注1参照）

助成対象経費外のもの
は「その他」に入れてください。

※ 助成金を申請する事業に係る収支予算のみ記載してください。

第1号様式4(1)の額

第1号様式4(2)の額

注1：備品購入費に関する助成対象経費の額は次により計上してください。

●一般部門は備品購入費以外の科目の助成対象経費の合計額を3で除した額以下の額（上限5万円）としてください。

●はじめの一步部門は備品購入費以外の科目の助成対象経費の合計額を2で除した額以下の額（上限5万円）としてください。

●いずれも除した後の額の下3桁が500円以上の場合は下3桁を500円とし、500円未満の場合は下3桁を000円としてください。

上記例の場合の計算式

一般部門 (30,000 円+2,000 円+20,000 円+15,900 円+7,000 円) ÷3≒24,966.6 円⇒24,500 円

はじめの一步部門 (30,000 円+2,000 円+20,000 円+15,900 円+7,000 円) ÷2=37,450 円⇒37,000 円

令和8年 4月 〇日

尾張旭市長 殿

住 所 尾張旭市〇〇町▲▲番地
団 体 名 市民活動を促進する会
代表者氏名 尾張 旭

尾張旭市市民活動促進助成事業事前着手申出書

令和8年度尾張旭市市民活動促進助成事業を、下記のとおり交付決定前に着手しますので、申し出いたします。

なお、本件について交付の決定がなされなかった場合においても意義は申し立てません。

記

- 1 事業の名称
市民活動団体をPRする事業
- 2 事前着手の理由
7月に開催するZOOM交流会の事前準備及び周知のためのチラシ作成に着手する必要があるため
- 3 着手及び完了予定年月日
令和8年4月1日から令和8年11月30日まで

チェックリスト

チェックリストで申請書類をチェックし、チェックしたものを申請書類とともに提出してください。

- 事業実施期間は助成対象期間内の日付ですか？
(令和8年4月1日～令和9年3月25日)
- 交付決定日(5月22日頃)前に着手する場合、事前着手申出書は添付されていますか。
- 国や地方公共団体、民間団体などによる助成金等を受けていない事業ですか？
- 収入予算額と支出予算額は同額になっていますか。第1号様式と第3号様式の金額は一致していますか。
- 助成対象外の経費(経常経費、食糧費、人件費、記念品代)などが助成対象経費で計上されていませんか？
- 尾張旭市内で行われる事業に対する経費ですか？
- 事業内容(人数、回数等)と収支予算書との整合性が取れていますか。
- 単価が3万円を超える物品を備品で計上していますか。備品の購入を予定する場合、補助対象経費は助成申請金額の1/2以内になっていますか？
- 助成金額が、はじめの一步部門は助成対象経費の3分の2以内、一般部門は助成対象経費の2分の1以内になっていますか。また、1,000円未満が切り捨てられていますか。
- 第1号様式5の添付書類及び団体の名簿は添付されていますか。

団体名 _____